

## 令和4年度第2回川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会 グループディスカッションの実施について

### 1 目的とねらい

川崎市地域包括ケアシステム連絡協議会では、多様な参加者同士の意見交換を通じて地域での連携の可能性を模索し、参加者同士が「顔の見える関係」になり、川崎市の地域包括ケアシステムの担い手として地域でご活躍いただくことを目指しています。

### 2 実施にあたって

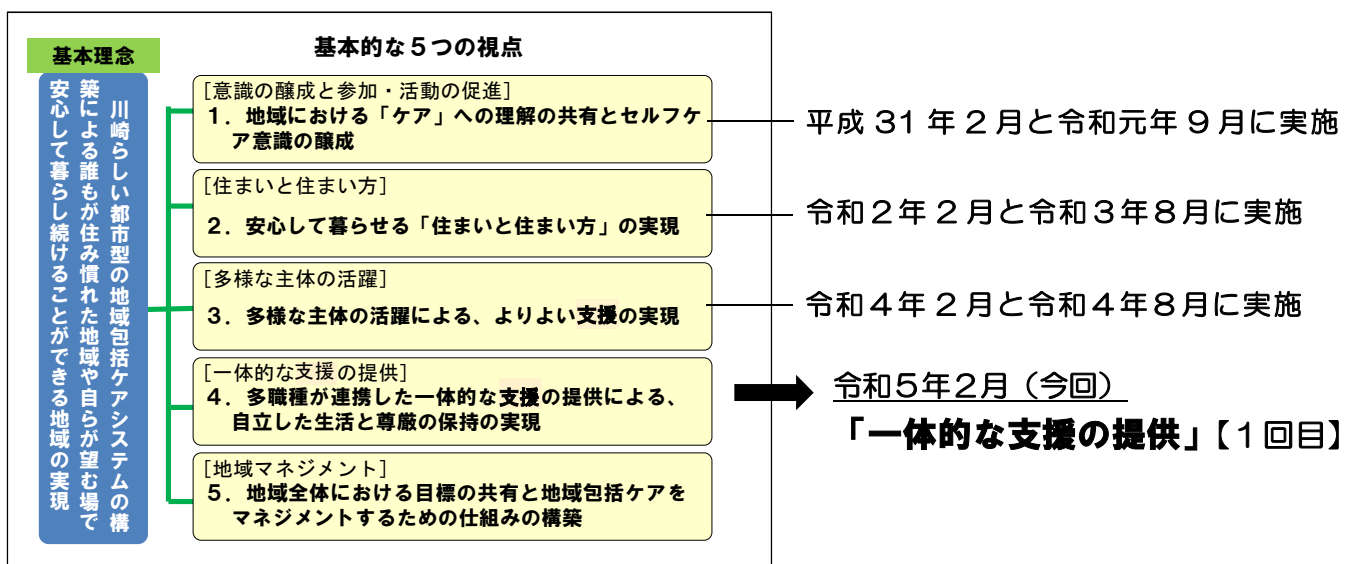
(1) ディスカッションテーマに対する「考え方・視点」や「意見」の集約を行います  
自らが地域包括ケアシステムの担い手として、「考え方・視点」や「意見」を出し合います。

(2) 参加者による「全員参加型」で行います

専門職団体、企業、大学、住民団体、住民等、多様な参加者が互いに気後れせず、また対等に話し合いに参加できるよう、『自分の立場を考える時間をもつ』・『発言しやすい雰囲気をつくる』・『他人の発言をよく聴く』というルールで話し合います。

### 3 テーマについて

「地域包括ケアシステム推進ビジョン」の基本的な視点を参考とし、設定することとします。  
今回は、各団体の取組をお互いが知り、連携に発展することや市民ニーズとのマッチングの可能性を多分野の参画団体の視点から探ることを目的として事例検討を行います。



一体的な支援の提供とは…多職種、多業種が顔の見える関係を構築することや、システム・ルールの整備を行うことで、医療・介護・看護・福祉・生活支援等が包括され、生活スタイルや介護度の変化に応じた継続的な支援を提供すること

(今回話し合うテーマ)

## 「心豊かな生活を送るために、どのようなサービス・支援・資源の活用が有効か」

実例を組み合わせた事例について、連絡協議会の参画団体が提供するサービス等一覧を参考に、利用するとよいと思うサービス・支援・資源についてアイデア出しを行います。

サービス・支援・資源のイメージ：

医療・介護・福祉系団体による支援、企業が提供する有償の製品やサービス、それに付随する無償のサービス、CSR活動、住民同士の助け合い、ボランティア活動等

(目標)

- ・事例の対象者やその家族が望んでいること、不安に思っていることを知り、どのようなことが提供できそうかを考える

## 4 実施方法

実例を組み合わせた事例を2つ提示します。そのうち事務局で指定した1つの事例について検討を行います。(A,C,E,G,Iグループ:事例1について検討、B,D,F,Hグループ:事例2について検討)

### 会場グループ (18:35~19:25)

ファシリテーター(進行役)、タイムキーパー、報告者と書かれた紙が置いてある方は、その役割をお願いします。ファシリテーターの方は①~⑦の進行をお願いします。

- 18:35~ ① 自己紹介(1人30秒程度):名前、所属、苦手な食べ物
- 《前半》  
18:40~ ② 個人ワーク(5分程度)で、事例の「本人への聞き取りで分かったこと」から対象者や家族が一番望んでいること、又は優先して対応すべきだと思うことを付箋に記入します。1枚の付箋に1つの意見を簡潔に記入してください。・・・**青色付箋**
- 18:55  
(目安) ③ グループ内で、1人1~2つずつ順番に発表し、付箋を模造紙に貼ります。同趣旨の意見が既に出ている場合、近くにまとめて貼りますので、その旨もお話してください。
- ④ ファシリテーターを中心にグループで話し合い、2つに絞ります。
- 《後半》  
18:55~ ⑤ 再び、個人ワーク(5分程度)で、④で絞った2つの事に対して、どのようなサービスや支援があるとよいかを付箋に記入します。(既存、架空のサービス等を自由に記入してください。サービス一覧表はあくまで参考です。)・・・**黄色付箋**
- 19:25  
(目安) ⑥ グループ内で、1人1~2つずつ順番に発表し、付箋を模造紙に貼ります。発表の際は、理由等、必要に応じて補足説明もお願いします。同趣旨の意見が既に出ている場合、近くにまとめて貼りますので、その旨もお話してください。
- ⑦ 出た意見をまとめて、タイトルをつけます。(参考:4頁<イメージ>)
- 19:25~ ⑧ ⑦でまとめた内容を、報告者が全体へ報告・発表します。(各グループ2分)

## オンライングループ (18:35~19:25)

ファシリテーター(進行役 兼 タイムキーパー、報告者)を事前に指名させていただきました。  
ファシリテーターの方は①~⑦の進行をお願いします。

- 18:35~ ① 自己紹介(1人30秒程度):名前、所属、苦手な食べ物
- 《前半》  
18:40~ ② 個人ワーク(5分程度)で、事例の「本人への聞き取りで分かったこと」から対象者や家族が  
一番望んでいること、又は優先して対応すべきだと思うことを挙げます。
- 18:55  
(目安) ③ グループ内で、1人1~2つずつ順番に発表します。  
委託事業者が書記を務めます。同趣旨の意見が既に出ている場合、その旨もお話してください。
- ④ ファシリテーターを中心にグループで話し合い、2つに絞ります。
- 《後半》  
18:55~ ⑤ 再び、個人ワーク(5分程度)で、④で絞った2つの事に対して、どのようなサービスや支援  
があるとよいかを考えます。(既存、架空のサービス等自由に考えてください。サービス一覧  
表はあくまで参考です。)
- 19:25  
(目安) ⑥ グループ内で、1人1~2つずつ順番に発表します。発表の際は、理由等、必要に応じて  
補足説明をお願いします。同趣旨の意見が既に出ている場合、その旨もお話してください。
- ⑦ 出た意見をまとめて、タイトルをつけます。(参考:4頁<イメージ>)
- 19:25~ ⑧ ⑦でまとめた内容を、ファシリテーターが全体へ報告・発表します。(各グループ2分)

※ 各グループにファシリテーター(進行役)の補佐として行政職員が同席します。

※ 各グループの発表後、座長の田中滋先生から講評をいただきます。

※ 各グループの意見、講評コメントは、後日報告書としてまとめます。

グループディスカッションの感想や話されなかった意見等がありましたら、アンケートに記入  
してください。

## <タイムテーブル>

時間		内容
18:00~	5分	市長挨拶、座長挨拶
18:05~ 18:15	10分	川崎市における地域包括ケアシステムの取組状況
18:15~ 18:30	15分	川崎市内での活動報告 (発表者) 小田急電鉄株式会社 顧客価値創造部 小田急くらしサポート 戸澤 基能 様
18:30~ 18:35	5分	グループディスカッションの流れの説明
18:35~ 18:40	5分	自己紹介 名前、所属、苦手な食べ物 (1人30秒程度)
18:40~ 19:25	45分	グループディスカッション <ul style="list-style-type: none"> <li>個人ワーク (5分程度): 対象者や家族が望んでいること、又は優先して対応すべきだと思うことを考えます。</li> <li>前半 (10分程度): 1人ずつ意見を発表し、グループで2つに絞ります。</li> <li>個人ワーク (5分程度): 上で絞った2つの事に対して、どのようなサービスや支援を利用するとよいかを考えます。</li> <li>後半 (25分程度): 1人ずつ意見を発表し、グループで意見をまとめます。</li> </ul>
19:25~ 19:50	25分	報告 グループで出た主な意見を報告してください。(1グループ2分目途)
19:50~ 19:55	5分	講評 座長の田中滋先生から講評をいただきます。
19:55~	5分	閉会・副市長挨拶

## <イメージ>

